

※この解像度は製品版と一緒にです

幼なじみが陵辱されていた事を僕は知らない


---

無料体験版

「プール行こうよ！ 早く着替えて！」

「イヤだよ、この前行ったばかりだろ」






純真で人懐っこい年下の女の子  
幼なじみの結愛（ゆうい）  
「僕」は彼女の誘いを断り  
一人でプールに行かせてしまう

彼女には、いつでも会えると思っていた

今日のような徹夜明けの日曜日じゃなくても  
また、いつでも会えるんだから  
今日は無理をしてついて行く必要はない

僕はそう思っていた





どうして誰も来ないんだろう。  
こんなにいい天気なのに。

郊外の静かな森の中のプールは  
その日本当は休業日だった……



やっぱり、一人じゃつまんない。

ある男のせいでヒロインはプール  
が休みである事に気づかない……



「これ君の服だよね？　ここ服掛けていいところ？  
普通更衣室とかに置くよね？」

「こ、ごめんなさい……  
更衣室が開いてなかったから……」

そして現れた野獣共、辺りには他に  
人影はなく周辺には民家もない



「とにかく開いてるから。  
ちゃんと更衣室使って」

「あ、あの、でも」

「ゆいちゃんの荷物は今  
まーくんが持って来るから」

「でも、その」

野獣共は結愛（ゆうい）を  
じりじりと絡め捕ってゆく



「暑いから戸閉めて、  
エアコンと電気つけようぜ」

—— パチッ……

「さっ、ゆいちゃん、  
いい子だから荷物は

二人の男と共に閉じ込められ  
結愛はその言葉に逆らえず……





「だったら俺も……勝手にしようかな……」

「お前が俺の気持ちどうでもいいなら  
俺もお前の気持ちどうでもいいし……」

「そんな……！」

**次第に要求をエスカレート  
させて行く男達の言うなりに**





幼なじみの「僕」は結愛に  
起きた事を何も知らない

「どうって事ないから。  
なめてしゃぶるだけだから」



「ほら、  
先っぽが入ったよ！  
今からゆいちゃんの  
卒業式を始めまーす」  
「おー」

—— パチパチパチ

「い……いや……  
いや……！」

総ページ数219CGはカットインを含め250枚  
以上、幼なじみの美少女が汚される濃厚な鬱  
エロストーリーをぜひ製品でお楽しみ下さい